

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	口腔ケア連携推進					所管	健康部 健康課
	行政計画	事業NO.	151	計画事業名	口腔ケア連携推進	事業の開始・終了年度	
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり [小 柱] (2)地域医療の充実 [施策] ①地域医療体制の充実				[事業開始] 平成 2 1 年度 [終了予定] - 年度	
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	口腔ケア連携推進事業実施要綱・歯科保健医療連携推進協議会設置要綱			
	事業対象	区民・介護事業者・医療関係者					
	事業目的	区民が身近な地域で歯と口腔の健康づくりに取り組めるよう、歯と口腔に関する各種の相談や調整を行う。また、介護・医療関係者との一層の連携により、かかりつけ歯科医の定着促進や口腔ケアを通じた口腔機能の向上を図り、区民の健康を維持する。					
	事業内容	区民が身近な地域で歯と口腔の健康づくりに取り組めるよう、次の事業に取り組む。 (1)三ノ輪口腔ケアセンターにおける歯と口腔に関する相談業務、関係機関との調整業務 (2)三ノ輪口腔ケアセンターや施設、在宅における口腔ケア指導、検査等実施に関するマネジメント業務 (3)口腔ケアに関する普及啓発 (4)事業にかかわる歯科従事者の育成 (5)事業に関する評価検証					
委託の有無	一部委託	委託内容	歯と口腔に関する相談、関係機関との連携および調整、口腔ケアに関するマネジメント、普及啓発、歯科従事者に対する専門知識の習得および育成				
補助金の有無	都						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度
	活動指標	講演会・研修会開催数	(回)	4	4	5	7
		施設訪問・在宅訪問介入者延数	(人)	4,000	3,982	3,970	3,139
	成果指標	講演会・研修会参加者数	(人)	120	95	107	103
		決算額 (単位：千円)				12,104	14,877
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			4,251	4,411	6,242
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			12,105	12,364	12,114
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	2,514	0
		総経費			16,356	19,289	18,356
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			5,272	5,359	5,280		
一般財源(区負担額)			11,084	13,930	13,076		
前回評価から改善した事項	三ノ輪口腔ケアセンターで使用するマイクロエンジン等の買い替えを行い、口腔ケア指導等の業務の向上を図った。歯科保健医療連携推進協議会を在宅療養連携推進事業の在宅療養連携推進協議会の専門部会として位置づけるための準備会を開催し、三ノ輪口腔ケアセンターと多職種との連携について協議検討を行った。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	3	在宅における口腔ケア、摂食嚥下の重要性は高まっており、今後区民や介護事業者などからの歯や口腔に関する相談や在宅療養中の高齢者への訪問相談も増加していくことが見込まれる。				
	効率性	3	本事業の実施には、歯や口腔に関する専門的知識を持った歯科衛生士による相談対応、また必要に応じて歯科医師による指導を要するため、現在の実施体制が最も効果的である。				
	手段の適切性	3	地区歯科医師会に委託することで、口腔ケアの推進に向けた、歯科医師・歯科衛生士の安定的な確保や連携を図っている。				
	目的達成度	3	今年度ケアマネジャー向けの研修会で講演を行った。今後より多くの方に口腔ケアの重要性やセンターの周知が図れるよう、他課の事業や各種イベントと連携した開催を検討していく。				
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
今後在宅で療養される方が増加し、在宅療養患者への口腔ケアの需要が高まっていく中で、訪問を行う歯科衛生士が常駐する三ノ輪口腔ケアセンターの役割はますます高まると考えられる。口腔ケアについて区民や介護事業者等にさらに周知を図り、また、歯科医師会と連携して在宅高齢者等に対する口腔ケアを推進していく必要がある。						維持	